

## 令和元年度 第2回浦安市文化財審議会議事録（議事要旨）

- 1 **開催日時** 令和元年7月17日（水） 午前10時～12時00分
- 2 **開催場所** 郷土博物館 視聴覚室
- 3 **出席者**  
（委員）菊池委員長、大塚副委員長、吉田委員、明保委員、穎原委員、大村委員、森田委員  
（事務局）高梨生涯学習部次長、島崎生涯学習課長、金子館長、島村、尾上（記）  
（傍聴人）なし

### 4 **議事** **報告事項**

- (1) 豊受神社イチョウ診断業務委託事業について
- (2) 「もっと知りたいふるさと浦安展」の開催について
- (3) 「第2次生涯学習推進計画・生涯スポーツ推進計画」（素案）について

### 5 **会議経過**

会議に先立ち、菊池委員長の挨拶後、教育委員会を代表して高梨生涯学習部次長があいさつを行った。

#### (1) 豊受神社イチョウ診断業務委託事業について

配布資料に基づき、事務局より説明した。  
主な質疑・応答については、下記のとおり。

- （委員）今後の調査や診断時期など、長期的な管理計画を出してもらおうとよい。
- （事務局）長期計画なども明記してもらおう。
- （委員長）当面、このイチョウは枯れたりしないのか。
- （事務局）樹勢はあると聞いている。
- （委員）樹木カルテに「活力」とあり、樹勢は1、樹形は3とあるが、この数値は何か。
- （事務局）数値の評価基準については、確認して回答する。
- （委員）台風など自然災害の危険性があり、万が一のとき、管理の責任所在が神社なのか、記念物指定しているから市なのか、明確にした方がよいのではないかと。よく道路の方にも、枝などが落ちていることがある。
- （事務局）基本的には所有は豊受神社であり、管理はお願いしているが、記念物に指定しているということで、市もかかわっていかねば、とも考える。千葉県内にも国指定の記念物などがあるので、他事例を確認して明確にしていきたい。
- （委員長）今回の調査費は市の予算でやっているのか。診断後の費用負担などはどのような計画か。
- （事務局）今回は市の予算で調査を実施する。診断のカルテが出た後は、神社側が行うという約束のもとで行っている。

- (委員) 平成 21 年の診断の後、メンテナンスは神社だけがやっていたのか。経過報告は受けていないのか。
- (事務局) 管理は神社が行っているが、博物館でも年 1 回の樹木観察会のときに確認はしている。
- (委員) 現在、車のお祓いも行っており、車が境内に入るようになっている。影響はないのか。
- (事務局) 木の根の張り具合の調査も行っており、駐車場側までは根が入っていないが、大祭のときなどに砂をまいたりするので、なるべく影響がないようにとお伝えしている。

## (2) 「もっと知りたいふるさと浦安展」の開催について

配布資料に基づき、事務局より説明した。  
主な質疑・応答については、下記のとおり。

- (委員長) 相談会での教員の人数は決まっているか。各学校には各種イベントなど夏の予定は伝わっているのか。
- (事務局) 相談会には、教員が均等に来ていただけるよう調整している。日程については「博物館だより」で配布済である。
- (事務局) 最近の状況では、中学校の方でも力を入れており、中学校からの作品も多く出ている。長期間にわたって研究した成果も出ている。
- (委員) 小学校も中学校も非常に忙しくて、地域学習を進めるきっかけが難しいが、本市の場合、夏休みと休み後に、このような取り組みがある。発表したり、表彰されたりする機会があるというのは本当にありがたい。博物館事業としても、夏休みには様々な取り組みがある。子どもたちも育っていると思われる。継続するのは大変だと思うが、引き続きお願いしたい。
- (委員) 活動が素晴らしいがゆえに、もう少し広報が広がればよい。  
このような活動は、他市でもよく行われていることなのか。
- (委員長) 教員が博物館に配属され、教員による博物館活用推進委員会が組織され、博学連携を進めている例は、千葉県内にはなく、全国でもほとんどない。展示会も 20 年継続していることは、非常に貴重である。
- (委員) 内容が違うと思うが、美術展の一部で紹介するとか、ケーブルテレビや FM 放送などで宣伝するとか、工夫ができないだろうか。
- (委員) 市役所の 1 階を借りて、一週間ほど展示するなど工夫できないか。ホールなら多くの人が見るし、宣伝になると思う。
- (事務局) ケーブルテレビでは、毎年紹介いただいている。
- (事務局) 海苔すき体験などでも同じあるが、毎年行っている事業だと、貴重な活動であっても、マスコミ・ミニコミなどで取り上げられることが少ない。他市だと珍しいこととしてニュースになる話が、本市では、どうしても宣伝に結びつかない悩みがある。ただ広報の努力は続けたい。
- (委員長) 博物館からの宣伝だけでなく、教育委員会からの宣伝にするとか、視点を変えて行ってみたら興味を引くのではないだろうか。

- (委員) 市民は「浦安の図書館は日本一」、「貸出冊数が日本一」ということは、よく知っている。郷土博物館で行っていることが全国でも貴重な活動ということは市民には理解されていないし、浸透もしていない。博物館自体が表彰を受けるなど、「わが街の博物館はすごい」と、どうにか伝えることができないだろうか。
- (委員長) 日本博物館協会などでも、博物館自体を表彰するということは少ない。市町村立の博物館で毎年来館者が10万人を超えていることだけでも大変なことだが、図書館のような貸出冊数というような明確な数値がないので、残念である。
- (委員) 20年間も事業が継続していることだけでも、貴重なことだし、地道な活動を続けていることに、何らかの評価があればいいと思う。

### (3) 「第2次生涯学習推進計画・生涯スポーツ推進計画」(素案)について

配布資料をもとに、事務局より説明した。

主な質疑・応答については、下記のとおり。

- (委員長) すぐに意見が出なければ、どのくらいまでに示せばよいか。
- (事務局) 年度中に計画を策定したい。9月頃までには意見をうかがうことができれば、計画に反映できると思う。11月にはパブリックコメントを行い、1月から印刷にかけたい。忌憚のないご意見をうかがいたい。
- (委員長) 計画は提言で、予算措置や組織的な課題などとは直接関係ないものか。
- (事務局) 計画には予算や人員など具体的なことは書き込んでいないが、博物館の展示リニューアルなど計画にあげられており、予算として反映されて実行されているものもある。
- (委員長) 意見があれば、9月半ばまでに博物館へ伝えるようにしたい。

### その他、末広湯調査について

- (事務局) 旧宇田川家に隣接して、昭和20年代に建築されたとされる銭湯、末広湯が今年3月に営業を終えた。市街地開発課からの相談もあり、千葉大学の建築学のゼミ生に内部(室内)の実測調査をお願いした。
- (委員) 千葉大学では、毎年2年生が旧大塚家の実測調査をして、それに関するプロジェクトを進めている。周辺は学生にもなじみのある場所で、7月3日に内部の実測調査を行った。旧大塚家があり、旧宇田川家がある比較的狭い位置に銭湯がある。浦安にとって特徴的な建造物がある中での湯屋というものが、浦安の生活を位置付ける上で、大変貴重な建造物であると感じた。中を拝見したところ、湯屋ということで大きな空間がある。真ん中が高く、教会堂のような内部空間で、「三廊式」(中央に身廊があって、両側に側廊がある形式)とも言っているが、とてもダイナミックなものと思われた。東日本大震災でも無事だったということで、構造的なところも調査したい。
- (委員) 建築時期は昭和20年代とされるが。

- (事務局) 正確な史料が残っていないので、確定できないが、所有者への聞き取り調査では、昭和26年～27年頃の建造ではないか、とのことである。
- (委員長) 持ち主は解体をしたがっているのか。
- (事務局) 旧市街地整備の関係から、そのまま残すことはできないとされている。資料的に貴重な部分と、現実的な土地再整備の問題がある。持ち主からは、そのまま風呂屋を継続することはできないと言われている。
- (委員) 市街地の再整備や防災計画などを見た上での検討はもちろんだが、文化財という視点で、まちの歴史を伝えたり、まちの誇りを醸成するエリアということでもバランスをとって考えていただければと思う。清瀧神社の参道であり、町屋、漁家、銭湯、旧医院と文化財が集積している土地でもあるので、その地区としての価値も十分にご理解いただきたい。
- (委員長) 今後の調査予定はどうか。
- (委員) 現在、図面を清書しているところである。いずれにせよ、記録を残すことが大事であり、学生もいろいろ考えるよい機会になっている。
- (事務局) 民俗資料も残っていることから、経営者にはとりあえず捨てないでください、と伝えてある。昭和20年代から使っている扇風機も現役で動くものが残っている。
- (委員) 浦安に銭湯は多かった。家の風呂よりも銭湯へ行く人が多かった。
- (委員) フラワー通りにある銭湯には、すべてに入ったことがある。浦安の銭湯は熱くて、入ると身体が真っ赤になってしまうので、気をつけてほしい。

## ■ 次回の会議

第2回浦安市文化財審議会は、11月13日(水)を予定。

以上をもって、令和元年度 第2回浦安市文化財審議会は、閉会した。